

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
I-1-(2)- ⑤ 子どもの 特性を伸 ばす教育 の充実	1	④	④	博物館セカンドス クール事業	自然史・ 歴史博 物館普 及課	博物館を第二の学校と 位置づけ、修学旅行・社 会見学など学校教育の一 環として、子どもたちの 博物館利用の促進を図る ものである。	学校団体誘致数 ※中期目標改訂	1,116団体 (2012年 度)	目標 1,200 団 体 実績 1,320 団 体 達成率 110.0 %	1,200 団 体	1,000 団 体	1,000団体 以上 (毎年 度)	縮小	1,617	1,487	減額	16,075	課長 0.05 人 係長 0.50 人 職員 1.40 人	順調	効率的な誘致活動を実施した 結果、来館した学校団体数・入 館者数ともに目標を達成した。 今後来館実績をもとにした誘 致とともに、新規団体の誘致も 積極的に実施し、子どもたちの 来館機会を創出し来館者数の維 持を目指す。 【中期目標の変更内容】 スペースワールドの閉園に伴 う修学旅行団体数の減少等の影 響を加味して、下方修正を図 る。	順調	博物館の理念に基づき、博物 館を第2の学校として子ども達 の来館機会を創出し、知的好奇心 や学習意欲を高める役割を果た すことで学校教育の充実に寄与 するため、この事業を推進して いく。	
	2	④	④	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学 者の業績を企画展等で紹 介するとともに、本市の 文芸の振興に功績のあつ た文学者を市内外に発信 する。	入館者数 (単位：人) ※中期目標改訂	10,741人 (2011年 度)	目標 22,000 人 実績 22,536 人 達成率 102.4 %	22,000 人	7,500 人	7,500人 (2019年 度)	縮小	19,455	17,132	減額	12,625	課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 0.25 人	順調	展示リニューアル工事によ り、施設の魅力を向上させるこ とで、入館者数の増加を図り、 市民と文学との接点を提供して いく。 【中期目標の変更内容】 展示リニューアル工事による 休館を予定しており、一時的な 入館者数の減少を折り込む。		文学館の展示リニューアルに より、魅力を向上し、市民に新 たな文学との出会いの場を提供 していく。	
I-1-(3)- ② 家庭教育 支援の充 実	3	④	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校 パートナーシップ 事業	生涯学 習課	家庭教育学級や子育て サポーターなどの活動を 通じて、保護者の不安を 軽減するため、関係機関 や関係部局と連携しなが ら、情報提供、啓発活動 を行い、保護者が家庭教 育について学ぶ機会の充 実、子どもの基本的生活 習慣定着への理解を促す ための情報提供、啓発活 動を進める。	朝食を毎日「食べて いる」「どちらかとい えば食べている」と回 答した児童生徒の割 合	小：93.0% 中：91.9% (2013年 度)	目標 小：99% 中：99% 実績 小：92.4% 中：91.0% 達成率 小：93.3% 中：91.9%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100% (2018年 度)	拡大	5,529	6,282	増額	9,150	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.80 人	順調	核家族化や共働き世帯の増 加、地域のつながりなど、子 どもや家庭を取り巻く環境が大き く変化しているため、今後市民 センターが核となって、家庭・ 学校・地域が連携する仕組みを 構築し、家庭教育支援を充実さ せる。	順調	既存の家庭教育学級・子育て ネットワーク充実事業は継続・ 充実を図る。 課題である参加できない保護 者への新たな取り組みとして 「親力アップ情報発信」を実施 し、いつでも家庭教育の役立つ 情報が得られるよう、子育て支 援につながる情報の発信を行 う。		
	4	④	③ ④ ⑪ ⑰	家庭・地域・学校 パートナーシップ 事業	生涯学 習課	家庭教育学級や子育て サポーターなどの活動を 通じて、保護者の不安を 軽減するため、関係機関 や関係部局と連携しなが ら、情報提供、啓発活動 を行い、保護者が家庭教 育について学ぶ機会の充 実、子どもの基本的生活 習慣定着への理解を促す ための情報提供、啓発活 動を進める。	朝食を毎日「食べて いる」「どちらかとい えば食べている」と回 答した児童生徒の割 合	小：93.0% 中：91.9% (2013年 度)	目標 小：99% 中：99% 実績 小：92.4% 中：91.0% 達成率 小：93.3% 中：91.9%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100% (2018年 度)	拡大	5,529	6,282	増額	9,150	課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.80 人	順調	核家族化や共働き世帯の増 加、地域のつながりなど、子 どもや家庭を取り巻く環境が大き く変化しているため、今後市民 センターが核となって、家庭・ 学校・地域が連携する仕組みを 構築し、家庭教育支援を充実さ せる。	順調	子どもや家庭を取り巻く環 境の変化に対応し、地域から子 育て世帯へ歩み寄る姿勢を示す ことで、子育て家庭が抱える悩 みや問題を解消できるきっかけ を提供していく。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位				
I-3-(1)- ① 多様な学習機会や学習情報、学びの場の提供	5	④	③ ④ ⑪ ⑰	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	生涯学習市民講座参加者数 ※中期目標改訂	93,589人 (2013年度)	目標 100,000人 実績 84,107人 達成率 84.1%	100,000人 110,000人	110,000人 (2020年度)	継続	17,125	13,627	減額	6,900	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.50人	順調	地域の状況に応じた柔軟な講座を実施するため、「大人向け」・「子ども向け」の区分を統合した。今後、地域の課題解決につながるような講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、生涯学習を通じて地域活動に参画する人材の育成を図る。 【中期目標の変更内容】 家庭・地域・学校パートナーシップ事業の「地域・子ども交流事業」が生涯学習市民講座に統合するため、上方修正した。	順調	より地域の状況に応じた、地域の課題解決につながるような講座を提供できるよう、市民センター館長研修の充実を含め、工夫していく。 館長研修や各区の社会教育主事・主事補を通じて、生涯学習推進コーディネーターの配置の意義・効果を啓蒙するとともに、具体的な人材の見つけ方などを指導し、生涯学習推進コーディネーターの全館配置に向け取り組んでいく。	
	6	④	④ ⑪ ⑰	生涯学習推進コーディネーター配置事業	生涯学習課	多様化・高度化する市民の学習要求に応え、生涯学習事業の充実及び学習の促進を目的に、全市民センター及び生涯学習総合センターに生涯学習推進コーディネーターを配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置割合	56.2% (2013年度)	目標 70% 実績 56.2% 達成率 80.3%	75% 80%	85% (2020年度)											継続
7	④	④ ⑪ ⑰	北九州市民カレッジ事業	管理運営課	市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進および「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。北九州市民カレッジの講座は、生涯学習総合センター主催コース（まちづくり・人材育成系、総合・教養系の2コース）と高等教育機関提携コースを前期・後期の2期で実施。	受講者数	1,435人 (2016年度)	目標 1,410人 実績 1,477人 達成率 104.8%	1,440人 1,470人	1,500人 (2020年度)	継続	5,373	5,374	維持	20,700	課長 0.30人 係長 0.90人 職員 1.10人	順調	講座内容のクオリティを確保しつつ、多様化する学習ニーズや課題を的確に把握するとともに、高等教育機関等との連携を更に進めていく。				
						受講者の満足度	90% (2013年度)	目標 95% 実績 98% 達成率 103.2%	95% 95%	95% (毎年度)												
I-3-(2)- ① 地域活動をリードする人材の育成	8	④	③ ④ ⑪ ⑰	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	生涯学習市民講座参加者数 ※中期目標改訂	93,589人 (2013年度)	目標 100,000人 実績 84,107人 達成率 84.1%	100,000人 110,000人	110,000人 (2020年度)	継続	17,125	13,627	減額	6,900	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.50人	順調	地域の状況に応じた柔軟な講座を実施するため、「大人向け」・「子ども向け」の区分を統合した。今後、地域の課題解決につながるような講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、生涯学習を通じて地域活動に参画する人材の育成を図る。 【中期目標の変更内容】 家庭・地域・学校パートナーシップ事業の「地域・子ども交流事業」が生涯学習市民講座に統合するため、上方修正した。	順調	市民の多様な学習ニーズに対応したカリキュラムを構築するとともに、地域課題への解決策となるような講座を増やしていくことで、地域に根付いた継続的な人づくりの機会を提供していく。	
							生涯学習活動に関する満足度	96.3% (2013年度)	目標 90% 実績 87% 達成率 96.7%	90% 90%	90%以上 (2020年度)											
9	④	④ ⑪ ⑰	地域課題解決のための人材活用支援事業	生涯学習課	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活動までを体系的に支援し、地域力アップにつながる仕組みをつくる。学んだ成果を地域に活かす講座の開催、地域活動をリードする人材育成事業及びボランティア（アドバイザー）グループによる支援事業を実施する。	「地域活動をリードする人材やボランティア活動に取組む人材が増加していると感じる」に肯定的な回答をした割合	37.6% (2015年度)	目標 54% 実績 30.6% 達成率 56.7%	56% 58%	60%以上 (2020年度)	継続	1,000	670	減額	5,400	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.30人	やや遅れ	地域活動をリードする人材育成として、階層別研修等を導入するなど市民センター館長研修の内容を見直し、充実を図る。また、人材マッチング事業は学習者と活動する者・団体とがつながる仕組みづくりを関係団体と協議する。				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職 位					人 数
I-3-(2)- ② 地域を支えるボランティアの育成	10	④	④ ⑪	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	88法人 (2017年度)	目標 90 法人	105 法人	120 法人	135法人 (2020年度)	継続	19,990	20,750	維持	19,725	課長	0.15 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会を引き続き実施するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。
						※中期目標改訂	実績 88 法人				達成率 97.8 %	係長						0.30 人					
II-1-(1)- ② 市民の消費生活の安定と向上	11	④	④	消費者啓発の推進	消費生活センター	悪質化・巧妙化する消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等、消費者自身が危機回避や被害にあった場合の適切な対処法を身に付けるための各種事業を実施するなど、啓発の推進や支援を行う。	消費生活センターの認知度	92% (2011年度)	目標 90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	継続	19,217	17,130	減額	8,075	課長	0.05 人	順調	消費者啓発・教育講座等については、成人年齢の引下げを見据えて、若年層向けをより強化させていく。	順調	特に若年層の消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等を充実させていく。 消費者自身が危機回避や被害にあった場合の適切な対処法を身に付けるための支援を行う。
						消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	91.5% (2014年度)	目標 90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	係長						0.30 人	職員				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の方向性	H30年度(2018) 予算額(千円)	R1年度(2019) 予算額(千円)	事業費の増減	人件費(目安)			H29年度(2017) 事業評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	H29年度(2017) 局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値(基準値)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)					中期目標	金額(千円)	職位					人数	
II-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	12	⑪	⑪	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活発化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	防犯パトロール活動への参加者数	目標	16,000 人	18,000 人	20,000 人	20,000人以上(2019年度)	継続	15,785	9,527	減額	15,900	課長	0.10 人	順調	2018年度に規模を拡大して安全・安心まちづくり市民大会を実施したため、予算は減額となるが、引き続き、地域の自主防犯活動を支援していく他、通勤や買い物等の外出時に、防犯の視点でまちを見て、不審者や危険な場所を発見したら、警察や市に通報する「ながら見守り」や、小学校の登下校の時間帯に、自宅や事業所の窓から子供たちを見守る「窓から見守り」を推奨することで、犯罪の抑止力を高めていく。 また、繁華街のにぎわいづくりをはじめ、本市の治安改善の現状など、首都圏でのPR活動を重点的に行うことで、市全体のイメージの向上を図る。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	
								実績	14,170人(2015年度)	17,705 人									係長					0.35 人
								達成率	110.7 %										職員					1.50 人
	13	⑪	⑪	子どもと女性の犯罪被害防止対策事業	安全・安心推進課	子どもと女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	目標	80 校	105 校	125 校	125校(2019年度)	継続	3,453	4,023	増額	15,900	課長	0.10 人	順調	引き続き、「地域安全マップづくり」を市内7校で実施し、最後に活動発表会を開催し、振り返りを行うことで、次年度に向けてより良い取組にしていく。また、防犯の専門家による「体験型」のセミナーを「子ども」、「保護者・教員」、「女性」を対象に開催し、各々の防犯意識等の向上を図る。 2018年度に開始した「未来を担う子どもの防犯推進事業」で実施していた「保護者・教員」向けのセミナーを2019年度から本事業に統合し、一体的な事業推進を図る。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	
								実績	35校(2013年度)	98 校									係長					0.35 人
								達成率	122.5 %										職員					1.50 人
14	⑪	⑪	安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心相談センター	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け付ける「安全・安心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	目標	前年度(24.1%)比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増(毎年度)	継続	21,172	18,855	減額	15,900	課長	0.10 人	順調	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効率的で効果的な運用を図る。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)		
							実績	22%(2015年度)	28.8 %									係長					0.35 人	
							達成率	119.5 %										職員					1.50 人	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
II-1-(3)- ② 防犯活動 の強化	15	⑪	⑤ ⑪	地域防犯対策事業	安全・ 安心 推進 課	北九州市安全・安心条 例では、「市民等は安全・ 安心に関する意識を自 ら高め、行動すること」 「市及び市民等は相互 に連携を深め、防犯活 動を協力して推進するこ と」と定められている。 この事業では、市民の 防犯意識を高め、地域 住民の自主防犯活動を 促進し、安全・安心を 実感できるまちの実現 を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年 (2,734 件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減	継続	30,150	28,725	維持	15,900	課長	0.10	順調	生活安全パトロール 隊の多くが結成10年 超となり、メンバーの 高齢化・固定化が進ん でいることから、パト ランキタキュー等の防 犯活動団体との連携を 促進することによって 、地域の犯罪抑止力の 強化を図る。	順調	通学路防犯灯の拡充の 推進を図る。また防犯 カメラの維持管理・運 用を適正に行っていく。 今後もこれらの事業を 警察等と連携して推進 するとともに、地域へ の積極的なPRを行い、 安全・安心を実感でき るまちづくりを進める。		
								実績	2,470 件										係長					0.35	人員
								達成率	109.7 %										職員					1.50	人員
16	⑫	⑫	防犯灯設置事業	安全・ 安心 都市 整備 課	夜間における犯罪の 発生を未然に防止し、 公衆の通行の安全を図 るため地域と市が協力 しながら、防犯灯を設 置。防犯灯の設置にあ たっては、LED防犯灯の 設置促進を図り、町内 会等の地域の防犯灯の 設置のため費用の一部 を助成し、明るく安心 して生活できるまちづ くりを推進。	刑法犯認知件数	目標	前年 (8,124 件) 比減	前年比減	8,000 件	8,000 件 (2019 年)	継続	116,823	111,629	維持	3,435	課長	0.04	順調	引き続き、防犯灯の LED化を推進しながら 、地域への補助等を 実施する。	順調				
							実績	7,570 件										係長					0.17	人員	
							達成率	106.8 %										職員					0.17	人員	
17	⑫	⑫	通学路防犯灯事業	安全・ 安心 都市 整備 課	通学路において、市に よるLED防犯灯の設置 を行い、通学路の夜間 の安全確保に取り組む。	刑法犯認知件数	目標	前年 (8,124 件) 比減	前年比減	8,000 件	8,000 件 (2019 年)	継続	15,900	9,500	減額	3,435	課長	0.04	順調	事業進捗の結果、新 規設置要望数の減少を 考慮して予算の見直し を図ったもの。引き続 き、通学路において増 設が必要な防犯灯は市 が整備する等、通学路 の夜間照明の設置強化 を図る。	順調				
							実績	7,570 件										係長					0.17	人員	
							達成率	106.8 %										職員					0.17	人員	
17	⑫	⑫	通学路防犯灯事業	安全・ 安心 都市 整備 課	通学路において、市に よるLED防犯灯の設置 を行い、通学路の夜間 の安全確保に取り組む。	市民が感じる治安状 況 (体感治安)	目標	前年度 (77.9%) 比増	前年度比 増	90 %	90% (2019 年度)	継続	15,900	9,500	減額	3,435	課長	0.04	順調	事業進捗の結果、新 規設置要望数の減少を 考慮して予算の見直し を図ったもの。引き続 き、通学路において増 設が必要な防犯灯は市 が整備する等、通学路 の夜間照明の設置強化 を図る。	順調				
							実績	79.0 %										係長					0.17	人員	
							達成率	101.4 %										職員					0.17	人員	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善																	
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職 位					人 数				
18	⑬	⑬	⑬	防犯カメラ事業	安全・ 安心 都市 整備 課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理、運用を行う。	繁華街における刑法犯認知件数	目標	前年 (957件) 比減			前年比減 (毎年)	継続	46,111	45,098	維持	3,435	課長	0.04	人	順調	防犯カメラ運用開始からの経年劣化に対し、保守や機器交換を適切に行うことにより、安定した運用を行う。					
								実績	51	件増																	
								達成率	94.7	%																	
							市民が感じる治安状況 (体感治安)	目標	前年度 (77.9%) 比増	前年度比 増	90	%											90% (2019年 度)	101.4	%	0.17	人
								実績	79.0	%																	
								達成率	101.4	%																	
刑法犯認知件数	目標	前年 (8,124 件)比減	前年比減	8,000	件	8,000件 (2019 年)	106.8	%	0.17	人																	
	実績	7,570	件																								
	達成率	106.8	%																								
19	⑬	⑬	⑬	防犯カメラ設置補助事業	安全・ 安心 都市 整備 課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置すること、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取り組みを推進する。	刑法犯認知件数	目標	前年 (8,124 件)比減	前年比減	8,000	件	8,000件 (2019 年)	継続	13,800	13,800	維持	3,435	課長	0.04	人	順調	防犯カメラ設置補助制度を継続するにあたり、申請実績に応じた予算を確保し、地域の防犯活動の十分な支援を行う。				
								実績	7,570	件																	
								達成率	106.8	%																	
							市民が感じる治安状況 (体感治安)	目標	前年度 (77.9%) 比増	前年度比 増	90	%	90% (2019年 度)											101.4	%	0.17	人
								実績	79.0	%																	
								達成率	101.4	%																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
II-1-(3)- ③ 暴力団追 放運動の 推進	20	⑪	⑪	暴力追放の推進	安全・ 安心相 談セン ター	社会全体で暴力団を排 除する取り組みを推進す るため、事業者・市民の 暴排意識を高める市民暴 力追放総決起大会や暴力 追放強調月間による集中 的な啓発活動などを実施 し、官民一体となって取 り組む。	暴追対策に対して評 価した市民の割合	目標	前年度 (73.6%)比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年 度)	継続	13,601	12,220	減額	12,850	課長	0.40	順調	警察・行政・市民とが連携・ 協力し、安全・安心なまちづく りを促進する環境を整えると ともに、暴力追放に対する市民意 識の高揚を図る。また、市民の 不安感の払拭に向けて、警察な どの関係機関と連携した暴追活 動を引き続き行う。	順調	警察や市民との連携した安全 で安心なまちづくりを促進する とともに、市民意識の高揚を図 る。また、市民が気軽に相談で きる体制を整備する。
								実績	71.9 %														
								達成率	97.7 %														
							企業における暴力団 排除条項の規定割合	目標	75%以上		80%以上	前々年度 比増 (2019年 度)	継続	21,968	21,394	維持	4,300	係長	0.30	人員			
実績	76.9 %																						
達成率	102.5 %																						
21	⑪	⑪	民事介入暴力相談 事業	安全・ 安心相 談セン ター	市民生活への暴力団等 の介入を排除し、安全・ 安心なまちづくりを図る ため、民事介入暴力相談 を実施。	暴追対策に対して評 価した市民の割合	目標	前年度 (73.6%)比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年 度)	継続	21,968	21,394	維持	4,300	課長	0.20	順調	市民が気軽に相談できる体制 を整えることで、より効率的で 効果的な運用を図る。	順調	市民が気軽に相談できる体制 を整えることで、より効率的で 効果的な運用を図る。	
							実績	71.9 %															
							達成率	97.7 %															
						企業における暴力団 排除条項の規定割合	目標	75%以上		80%以上	前々年度 比増 (2019年 度)	継続	21,968	21,394	維持	4,300	係長	0.20	人員				0.00
実績	76.9 %																						
達成率	102.5 %																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数			
II-1-(3)- ④ 交通安全の推進	22	③	③	交通安全推進事業	安全・ 安心都市 整備課	第9次北九州市交通安 全計画に基づき、重点項 目について啓発を実施。 生涯にわたる交通安全 教育及び効果的な広報啓 発活動により、市民に広 く交通安全思想を普及 し、交通事故防止を図る もの。	交通事故の発生件数 (警察統計のため暦 年でカウント)	目標	前年 (7,729 件) 比減	前年比減	前年比減	7,300件 以下 (2020 年)	継続	16,662	15,245	その他	9,800	課長	0.20	順調	小学校等での交通安全教室や 広報啓発活動を実施し、交通事 故防止を図る。 また、これまで別々に実施し ていた青少年・高齢者を対象と した事業を統合し、より効果的 かつ効率的に交通安全の推進を 図る。	順調	交通公園での交通安全指導の ほか、出前講座として小学生向 け、高齢者向けの交通安全教室 を開催しており、今後も交通事 故防止について、子どもから高 齢者まで幅広く啓発を行う。			
								実績	7,001																	
								達成率	109.4	%																
							目標	前年 (16人) 比減	前年比減	前年比減	19人以下 (2020 年)	職員						0.60								
	実績	22	人																							
	達成率	62.5	%																							
23	③	③	交通安全センター 管理運営	安全・ 安心都市 整備課	北九州市立交通安全セ ンターを管理するととも に、交通安全教室等を開 催し、自転車の安全運転 や、交通ルール・マナー の徹底を図る。	交通事故の発生件数 (警察統計のため暦 年でカウント)	目標	前年 (7,729 件) 比減	前年比減	前年比減	7,300件 以下 (2020年)	継続	27,573	27,767	維持	3,650	課長	0.10	順調	交通公園での交通安全教室な どで、子どもから高齢者まで幅 広く教育、啓発を行い、交通事 故防止を図る。	順調					
							実績	7,001	件																	
							達成率	109.4	%																	
						目標	前年 (777件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減 (毎年)	職員						0.20									
実績	751	件																								
達成率	103.3	%																								
II-1-(3)- ⑤ 非行や犯罪を生ま ない地域 づくり	24	⑪	⑤ ⑪	地域防犯対策事業	安全・ 安心推 進課	北九州市安全・安心条 例では、「市民等は安全 ・安心に関する意識を 自ら高め、行動すること 」「市及び市民等は相 互に連携を深め、防犯活 動を協力して推進するこ と」と定められている。 この事業では、市民の防 犯意識を高め、地域住民 の自主防犯活動を促進 し、安全・安心を実感で きるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年 (2,734 件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減	継続	30,150	28,725	維持	15,900	課長	0.10	順調	生活安全パトロール隊の多く が結成10年超となり、メンバー の高齢化・固定化が進んでいる ことから、パトランキタキュー 等の防犯活動団体との連携を促 進することによって、地域の犯 罪抑止力の強化を図る。	順調	地域の方やボランティアが定 期的にエリアをパトロールする ことで、犯罪の抑止力とするだ けでなく、市民の防犯意識を高 め、自ら安心・安全な生活の実 現を図る活動を推進する。			
								実績	2,470	件																
								達成率	109.7	%																
							目標	前年度 (77.9%)比増	前年度比 増	90 %	90% (2019年 度)	職員						1.50								
	実績	79.0	%																							
	達成率	101.4	%																							
II-3-(4)- ① 平和の尊 さへの理 解の促進	25	⑯	⑯	戦時資料展示コー ナー管理運営事業	地域 振興 課	市民からご寄贈いた だいた戦時下の資料を保 管、展示することによ り、北九州市立埋蔵文化 財センター内に開設した 戦時資料展示コーナーに おいて、戦争がもたら した惨禍と平和の尊さを多 くの市民に理解してい ただく。	戦時資料展示コー ナー見学者数	目標	4,000	人	4,000	人	4,000	人	4,000人 (毎年 度)	継続	1,329	1,329	維持	1,220	課長	0.03	大変 順調	多くの方に来館していただく ため、チラシの配布拠点を増や すなど、広報の強化に努める。	大変 順調	戦争がもたらした惨禍と平和 の尊さを、多くの市民に理解 していただくため、広報活動を通 じて、戦時資料展示コーナーの 周知により一層力を入れてい く。チラシの配布先の拡充等、 PR活動を通じて、入場者数の増 加を図る。
								実績	5,039	人																
								達成率	126.0	%																
							目標	4,000	人																	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)		
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数	
Ⅲ-1-(1)- ④ 市民のモラル・マナーの向上	26	⑪	⑪	モラル・マナー アップ関連条例推 進事業	安全・心 都市備 課	条例や基本計画に基づ き下記事業に取り組む。 ・小倉・黒崎地区（迷惑 行為防止重点地区）での 巡視活動（過料の適用） ・地域が実施する迷惑行 為防止活動に対する支援 ・小学生を対象としたモ ラル・マナーアップ教育 ・モラル・マナーアップ に関する広報啓発	迷惑行為防止に係る 地域活動団体の増加	82団体 (2014年 度)	前年度 (92団 体) 比増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年 度)	継続	24,002	19,509	減額	6,150	課長	0.10	人	順調	引き続き、条例や基本計画に 基づき、地域活動団体への支援 や啓発活動等を実施し、モラ ル・マナーアップの推進に努め る。 2019年度はコストダウンに努 め、より効率的に事業を実施す ることとした。	順調	モラル・マナーアップ推進の ため、広報活動などを行い、条 例や基本計画の認知度を向上さ せる。
						路上喫煙率（歩行者 に占める喫煙者の割 合）	小倉 0.17% 黒崎 0.24% (2014年 度)	前年度 (小倉 0.16%、 黒崎 0.36%) 以下	前年度以 下	前年度以 下	前年度以 下 (毎年 度)							係長	0.20					
Ⅲ-2-(1)- ② 地域における伝統 文化の発 掘・継承	27	⑪	⑪	文化財保存補助	文化 企画 課	伝統文化の継承者や保 存団体の活動を育成・支 援し、市内の伝統文化を 発掘し、次世代に継承し ていく。	指定無形民俗文化財 保存支援団体数	16団体 (2014年 度)	16 団 体	17 団 体	17 団 体	17団体 (2018年 度以降毎 年度)	継続	1,072	1,082	維持	11,050	課長	0.20	人	順調	優先順位をつけながら、文化 財の保存・活用に努める。	順調	優先順位をつけながら、文化 財の保存・活用に努める。
						実績	17 団 体	達成率	106.3 %	係長	0.50							人	職員					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-2-(2)- ① 発信力の高い文化芸術の振興	28	④	④ ⑪	芸術文化活性化事業	文化企画課	【劇場・自主事業】 エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。	北九州芸術劇場・自主事業入場率 ※中期目標改訂	目標	80 %	80 %	87 %	87% (2023年度)	継続	119,874	108,568	減額	3,550	課長	0.05 人	順調	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していく必要がある。そのため、民間プロダクションとの提携や全国の劇場やホールとの連携（共同制作）等、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努めていく。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
						実績		90 %															
	達成率	112.5 %																					
	29	④	④ ⑪	北九州国際音楽祭	文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、2019年度で32回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州国際音楽祭の満足度	目標	85 %	85 %	85 %	85% (2019年度)	継続	40,000	40,000	維持	1,625	課長	0.05 人	順調	引き続き、企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の増加及び、満足度の向上を目指す。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
						実績		100 %															
	達成率	117.6 %																					
	30	⑧	⑧ ⑪	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果） ※中期目標改訂	目標	110,000 千円	500,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (2019年度以降毎年度)	継続	49,388	46,573	減額	47,100	課長	0.40 人	大変順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、これまでタイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、今後はシンガポールや北九州空港への直行便が就航した台湾にターゲットを拡大する。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）
						実績		519,944 千円															
	達成率	472.7 %																					
31	⑧	⑧ ⑪	松永文庫企画事業	文化企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	年間来館者数	目標	9万 人	10万 人	10万 人	10万人/年度	継続	9,600	9,600	維持	4,900	課長	0.10 人	順調	2016年5月に日本批評家大賞特別賞を受賞したこと等により、全国的に注目を集めている。今後も「映画の街・北九州」を国内外に強力に発信するために、企画展示を拡充していく。	局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容（課題に対する改善方法等）	
					実績		8万 人																
達成率	88.9 %																						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs 目標 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職 位				
Ⅲ-2-(2)- ② 市民の文化芸術活動の促進	32	④	④ ⑪	芸術文化育成負担金・補助金	文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施 ※中期目標改訂	16事業 (2011年度)	目標 15 事業 実績 15 事業 達成率 100.0 %	16 事業 15 事業	15 事業	15事業 (2019年度)	継続	41,350	35,350	減額	5,825	課長 0.05 人 係長 0.30 人 職員 0.30 人	順調	引き続き、本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。 【中期目標の変更内容】 1団体が隔年での事業実施となっているため、16事業から15事業に変更した（次回は2020年度を予定）。	順調	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、文化活動を展開している団体等の事業を支援するほか、市民の自主的な活動を支援する。
	33	④	④ ⑪	北九州市文化振興基金	文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (2009年度)	目標 25 件 実績 20 件 達成率 80.0 %	25 件 25 件	25 件	25件 (毎年度)	継続	10,559	11,681	増額	3,825	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.30 人	順調	文化芸術に関する市民の自主的な活動をさらに活発化し、その内容がレベルアップするような効果的な支援を行っていく。また、ここ数年は運用益が大幅に減り、基金残高が減少しているため、寄附金（北九州かるかるファンド）事業の宣伝、広告の方法及び返礼品等の見直しを検討する。		
Ⅲ-2-(2)- ③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	34	④	④	美術館企画展充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数 ※中期目標改訂	245,420人 (2014年度)	目標 220,000 人 実績 183,887 人 達成率 83.6 %	230,000 人 230,000 人	240,000人 (2020年度)	継続	144,123	112,007	減額	36,750	課長 0.25 人 係長 0.65 人 職員 3.65 人	順調	企画展・コレクション展を継続実施。分館については、民間が主催する魅力ある展覧会を誘致し、展覧会数は維持すると同時に予算縮減を図る。 【中期目標の変更内容】 美術館の入館者数については2014年度、コレクション展の観覧者数については2018年度と同等として、上方修正した。	大変順調	美術館については、企画展・コレクション展の魅力向上を図るとともに、民間が主催する魅力ある展覧会の誘致を図る。博物館については、開館20周年に向けて、集客増につながるより魅力的な企画展・特別展の開催、より効果的な広報PR等ソフト面での充実を図る。	
	35	④	④	博物館企画展・特別展充実事業	自然史・歴史博物館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことによって、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。 <2019年度特別展> ・春の特別展 「(仮) 獣は毛もの」 ・夏の特別展 「(仮) 両性爬虫類の世界」 ・秋の特別展 「(仮) 棟方志功 九州の足跡と安川カレンダー」 ・冬の特別展 「(仮) 博物館の宝物展」 ・春の特別展 「(仮) まるごと馬展」	博物館総入館者数	369,711人 (2012年度)	目標 420,000 人 実績 532,110 人 達成率 126.7 %	450,000 人 450,000 人	450,000人 (2018年度以降毎年度)						継続					49,922

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善														
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 目標 番号	SDGs サブ 目標 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)						
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数					
Ⅲ-2-(2)- ④ 文化芸術 の担い手 の育成	36	④	④	美術鑑賞事業 「ミュージアム・ ツアー」	美術 館普 及課	市内の小学3年生を対象に、美術作品の鑑賞他 体験型のプログラムを作成し、子どもたちに体験 してもらおうことでシビック プライドの醸成をはかる。	参加校の割合	目標	15 %	100 %	100 %	100% (2019年 度)	継続	35,000	33,199	減額	25,650	課長	0.10 人	順調	2017年度2区(約900人) から 2018年度市内の全区の小学3年生 (約8千人) を対象に拡大し、 「初めての美術館体験」をコン セプトにした美術鑑賞プログラ ム。引き続き美術鑑賞・建築見 学・市内眺望の3つの体験を通じ た、学びの場を提供する。	順調	美術館等に訪れた経験のない 小学生への「初めての美術館体 験」や、優れた文化・芸術との “出会い” 創造事業といった初 学者向けのプログラムを通じ て、文化活動に関する裾野の拡 大を図るとともに、次の文化の 担い手となる人材のブラッシュ アップを進める。 また、文学賞などの機会を設 けることにより、競争を促し、 アーティストが世間に認知され ていくためのきっかけを提供し ていくと同時に、文学賞の認知 度を高め、応募者数の増加と応 募作品のレベルアップに繋がる よう積極的な広報活動を行って いく。					
								実績	14 %									係長	0.20 人									
								達成率	93.3 %									職員	3.00 人									
	37	④	④	⑪	優れた文化・芸術 との“出会い” 創 造事業	文化 企画 課	将来の文化・芸術の担 い手を育成し、本市の文 化振興をさらに進めると ともに、シビックプライ ドの醸成につなげていく ため、若者や子どもたち を中心に優れた文化・芸 術との“出会い” の場・ 機会を創造していく。	教育普及事業への参 加者数の増加	目標	3,000 人	3,000 人	3,000 人	3,000人 (2019年 度)	継続	10,000	6,840	減額	8,725	課長	0.15 人	大変 順調	次世代の文化の担い手育成や 文化活動の活性化のため、若者 や子どもたちを中心に、優れた 文化・芸術活動に触れる機会を 提供していく。 なお、実施に当たっては、事 業規模の見直し等を行いなが ら、効果的な事業運営に努めて いく。						
実績	5,179 人			係長	0.40 人																							
達成率	172.6 %			職員	0.40 人																							
38	④	④	⑪	現代美術セン ター・CCA北九州支 援事業	文化 企画 課	CCA北九州は、現代美 術の世界的な拠点のひと つとなることを目指して 活動している研究・学習 機関。国内外から集まる 現代美術の若手アーティ スト等の指導育成、招聘 アーティストによる新作 発表のための展覧会、国 内外の第一線で活躍する 学芸員による「キュレー ターミーティング」を開 催するとともに、CCA北 九州のネットワークを活 かして、その活動を広く 市民に浸透させるための 文化講座、子ども向け ワークショップなどの事 業を行っている。 これら事業を実施して いるCCA北九州を支援す るもの。	フェロシッププロ グラムの受講者数	目標	6 人	5 人	5 人	5人 (2020年 度)	継続	40,000	39,000	維持	8,150	課長	0.10 人	順調	フェロシッププログラムに ついては、一定レベルの受講生 の確保を図りつつ、充実したプ ログラムを実施する。 また、事業については、内容 の見直しや経費削減等を更に進 めつつ、地域への還元や市民対 象の公開講座の実施を通じて、 市民へのCCA北九州のより一層の 浸透に努める。							
								実績	5 人									係長	0.70 人									
								達成率	83.3 %									職員	0.00 人									
							CCA北九州事業参加 者人数	目標	2,200 人	1,800 人	1,800 人	1,800人 (2020年 度)						継続	40,000			39,000	維持	8,150	係長	0.70 人	順調	フェロシッププログラムに ついては、一定レベルの受講生 の確保を図りつつ、充実したプ ログラムを実施する。 また、事業については、内容 の見直しや経費削減等を更に進 めつつ、地域への還元や市民対 象の公開講座の実施を通じて、 市民へのCCA北九州のより一層の 浸透に努める。
								実績	2,037 人																			
								達成率	92.6 %																			
39	④	④	④	子どもノンフィク ション文学賞	文学 館	「ノンフィクション」 というジャンルの作品を 書くことで、子どもたち が人間や社会への関心を もつ契機となり、思考能 力や人間としての成長を 促すことを目的に、全国 の小中学生を対象に創設 した文学賞。	応募総数	目標	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000件 (2019年 度)	継続	10,942	10,802	維持	9,300	課長	0.20 人	順調	応募地域を広げ、全国規模 の賞としてふさわしい応募 数、内容となることを目指 す。また、市内小中学校にも 直接働きかけ、市内からの応 募数獲得に努める。							
								実績	713 件									係長	0.40 人									
								達成率	71.3 %									職員	0.40 人									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
40	④	④		林芙美子文学賞	文学館	「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信するとともに、これから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘することを目的に実施するもの。	「林芙美子文学賞」 作品応募数	目標	700 件	500 件	500 件	500件 (2019年 度)	継続	12,277	12,277	維持	5,825	課長	0.05 人	順調	応募者が作家として書き続けていくことのできる力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ち着きつつある。受賞者のその後の活躍も紹介し、広報の充実に努める。		
						実績		484 件			係長							0.30 人					
達成率	69.1 %			職員	0.30 人																		
41	④	④	⑪	「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課	市民の歌声があふれる「合唱の街・北九州」の実現に向けて、子どもたちからシニア世代まで幅広い年代の多くの市民が、合唱する側や聴いて楽しむ側として参加するまちづくりを進めていく。	合唱関連事業における歌い手としての参加者 ※中期目標改訂	目標	1,200 人	900 人	400 人	400人 (2019年 度)	縮小	7,000	5,144	減額	7,150	課長	0.10 人	順調	楽器を必要としない合唱は、だれもが参加しやすく、多世代が一緒に歌うことで世代間交流の促進という効果も期待される。今後も「合唱の街・北九州」を市内外にPRしていくとともに、合唱参加者のレベルアップを促し、活動の活性化を図る。 【中期目標の変更内容】 効果的な事業運営に努めるべく、事業規模の見直し等を行ったため、参加者数等が減少するもの。		
						実績		976 人			係長							0.30 人					
						達成率		81.3 %			職員							0.40 人					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019) 年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-2-(2)- ⑤ 文化芸術 によるまちづくり	42	⑪	④ ⑧ ⑪	創造都市推進事業	東アジア 文化都市 推進室	文化芸術の力を活用した「創造都市・北九州」の実現に向け、東アジア文化都市2020北九州と連携しながら、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの推進等に取り組む。	2020年東京大会に向けた文化プログラムの認証件数 (累計)	2016年度 開始	目標 20 件	20 件	40件 (2019年度)	継続	5,300	4,000	減額	18,000	課長 0.50 人	順調	文化プログラムの推進に向け、制度及び申請方法等についてHPを活用し、周知を図る。	順調	各事業を通じて、国内外へ「創造都市・北九州」としての都市ブランドを発信し、市民のシビック・プライドの醸成につなげる。 映像製作誘致強化関連事業については、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致等に積極的に取り組むほか、文学については、地元商店街や大学生と協力して、「北九州文学サロン」を拠点とした取り組みを進めるなど、「映画の街」、「文学の街」として広く発信していく。		
	43	④	④	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	83,161人 (2015年度)	目標 100,000 人	100,000 人	100,000 人	継続	76,050	66,379	減額	44,000	課長 1.00 人	順調	前年度は人気の高い巡回企画展とあわせ、常設エリアで関連した展示やイベントを行うことにより、来館者の増加が達成できた。 2019年度も、企画展と同時に関連イベントを行う等工夫を凝らし、漫画ミュージアムの認知度向上及び、入館者の増加を目指す。				
	44	⑧	⑧ ⑪	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果) ※中期目標改訂	100,000 千円 (2009年度)	目標 110,000 千円	500,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (2019年度 以降毎年度)	継続	49,388	46,573	減額	47,100	課長 0.40 人	大変 順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、これまでタイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、今後はシンガポールや北九州空港への直行便が就航した台湾にターゲットを拡大する。 【中期目標の変更内容】 地域経済への貢献については、事業規模を若干縮小しつつ効率化を図るため、単純な前年比較ではなく直近20年間の平均値に対して持続的な成長を遂げるよう目標設定を見直した。 北九州フィルム・コミッションの市民への認知度については、当初の目標を達成したため、更なる認知度向上に向け目標値を見直し、上方修正した。			
	44	⑧	⑧ ⑪	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	北九州フィルム・コミッションの市民への認知度 ※中期目標改訂	59.8% (2013年度)	目標 75.0 %	80.0 %	85.0 %	85.0% (2019年度)	継続	49,388	46,573	減額	47,100	係長 2.00 人	大変 順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、これまでタイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、今後はシンガポールや北九州空港への直行便が就航した台湾にターゲットを拡大する。 【中期目標の変更内容】 地域経済への貢献については、事業規模を若干縮小しつつ効率化を図るため、単純な前年比較ではなく直近20年間の平均値に対して持続的な成長を遂げるよう目標設定を見直した。 北九州フィルム・コミッションの市民への認知度については、当初の目標を達成したため、更なる認知度向上に向け目標値を見直し、上方修正した。			
	44	⑧	⑧ ⑪	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	北九州フィルム・コミッションの市民への認知度 ※中期目標改訂	59.8% (2013年度)	目標 75.0 %	80.0 %	85.0 %	85.0% (2019年度)	継続	49,388	46,573	減額	47,100	職員 3.00 人	大変 順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、これまでタイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、今後はシンガポールや北九州空港への直行便が就航した台湾にターゲットを拡大する。 【中期目標の変更内容】 地域経済への貢献については、事業規模を若干縮小しつつ効率化を図るため、単純な前年比較ではなく直近20年間の平均値に対して持続的な成長を遂げるよう目標設定を見直した。 北九州フィルム・コミッションの市民への認知度については、当初の目標を達成したため、更なる認知度向上に向け目標値を見直し、上方修正した。			
45	④	④ ⑪	北九州文学サロン管理運営事業	文化企画課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、「北九州文学サロン」を拠点として、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	「北九州文学サロン」の来館者数	2016年度 開設	目標 12,000 人	13,000 人	14,000 人	39,000人 (2017~ 2019年度)	継続	11,000	11,000	維持	6,400	課長 0.10 人	大変 順調	音楽や絵画など、様々な文化芸術と文学をつなぎ、魅力ある企画・取組みの実施、情報発信が必要である。引き続き、地元商店街や大学生と連携し、様々な人が気軽に文学に接する取組みを進めていく。				
46	⑧	⑧ ⑪	松永文庫企画事業	文化企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	年間来館者数	89,317人 (2014年度)	目標 9万 人	10万 人	10万 人	10万人/ 年度	継続	9,600	9,600	維持	4,900	課長 0.10 人	順調	2016年5月に日本批評家大賞特別賞を受賞したこと等により、全国的に注目を集めている。今後も「映画の街・北九州」を国内外に強力に発信するために、企画展示を拡充していく。				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
47	④	④	④	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (2010年度)	目標 前年度 (48,404人)比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	縮小	27,841	14,855	減額	23,250	課長 0.50 人	順調	R1 (2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 松本清張生誕110年の節目の年あたり、入館者の増加を図るため、2018年度に行った魅力向上調査に基づき、記念館の中庭のリニューアル等を行うことで、市民をはじめ、より多くの方に清張の人と作品に触れる機会をつくる。 記念館全体の事業を精査した上で、企画展の回数を1回削減するが、記念館の魅力向上を図ることにより、「文学の街・北九州」を市内外に発信する。 またあわせて、魅力ある企画展・記念講演会など実施する。			
						企画展入場者の満足度	85% (2010年度)	目標 90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	係長 1.00 人											職員 1.00 人
48	⑪	④	⑧	⑪	北九州市東田地区ミュージアムパーク創造事業	文化企画課	八幡・東田地区において、いのちのたび博物館を中核として、周辺施設が連携し、地域の活性化やインバウンドの取り込みにつなげるため、面的・一体的に事業を実施するもの。また2020年に文化クラスターのシンボルイベントとして「Art for SDGs」を開催する。	東田地区における文化関連施設3館の来館者数の増加率 (対2017年度比)	約73万人 (2017年度)	目標 5 % 増				10%増 (2020年度)	—	6,000	6,000	維持	10,150	課長 0.10 人	—	2018年度予算では、「文化関連施設多言語化推進事業」の名称で予算を計上し、多言語化の対象施設を市内の文化施設全体としていたが、2018年度の国の補助申請に際し東田地区に特化した形での事業に変更し認められたため、申請内容に合わせた事業計画に変更した。	
							東田地区における文化関連施設3館の外国人来館者数の増加率 (対2016年度比)	約9千人 (2016年度)	目標 10 % 増			30%増 (2020年度)	係長 0.90 人	職員 0.00 人									

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-2-(3)- ① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	49	③	④	市民体育祭	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭選手参加者数 ※中期目標改訂	30,367人 (2014年度)	目標 30,000人 実績 31,058人 達成率 103.5%	28,000人 21,000人	21,000人 (2019年度以降毎年度)	縮小	7,400	6,354	減額	4,650	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.20人	順調	大会数や参加者が増加する中で、一部重複している種目・大会の見直し等により効率的な大会運営を図る。 【中期目標の変更内容】 春季レディース大会の廃止により、中期目標を下方修正する。				
	50	③	④	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催。	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数 ※中期目標改訂	12,371人 (2014年度)	目標 12,600人 実績 18,127人 達成率 143.9%	12,600人 15,000人	15,000人 (2019年度以降毎年度)	継続	19,612	19,612	維持	990	課長 0.01人 係長 0.05人 職員 0.05人	大変順調	各区におけるスポーツ教室、体験会などのPR、開催方法の工夫を行い、さらなる参加者の増加を図る。 【中期目標の変更内容】 参加者増加に伴い、中期目標を上方修正する。				
	51	③	④	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (2010年度)	目標 3,000人 実績 2,418人 達成率 80.6%	3,300人 3,600人	2020年度までに4,000人	継続	3,459	3,182	減額	2,325	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.10人	順調	市内の9つのクラブで構成する北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営を見直すとともに、各クラブの自主的な活動と運営を支援する。				
	52	③	④	⑪	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	トップアスリート等の活用により、オリンピック選手など国際、全国大会で活躍する、次世代を担うトップアスリートを育成するとともに、スポーツに対する意欲を醸成する。	選手強化事業参加者数 ※中期目標改訂 教室・強化講習会等の実施	210人 (2014年度) 5種目 (2014年度)	目標 450人 実績 1,337人 達成率 297.1% 5種目以上 10種目 達成率 200.0%	500人 1,000人 5種目以上 5種目以上 5種目以上	1,000人 (毎年度) 毎年度5種目以上 (2019年度まで)	拡大	8,000	9,000	増額	6,305	課長 0.02人 係長 0.24人 職員 0.49人	大変順調	国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、対象種目を増やして、参加者数の増加を図る。 【中期目標の変更内容】 選手強化事業参加者数の中期目標を毎年度1,000人として新たに設定した。	順調	引き続き「誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり」を推進するため、既存事業を効率的に運営し、効果的に実施していくとともに、地域スポーツ振興の中核をなす総合型地域スポーツクラブの育成・支援を継続する。 また、北九州マラソンの継続開催により、市民のスポーツ・健康に対する意識の更なる向上を目指すとともに、本市の魅力为全国へ発信する。	
53	③	④	⑧	⑪	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数 マラソン：11,000名、ペアリレーマラソン：150組300名、ファンラン(3km又は5km)：1,000名	マラソン大会開催による経済波及効果	10.5億円 (2013年度)	目標 11.5億円 実績 10.3億円 達成率 89.6%	11.5億円 単年度目標設定なし	11.5億円 (2022年度までに)	継続	89,663	92,157	維持	64,750	課長 1.50人 係長 2.50人 職員 3.00人	大変順調	ランナー（「する人」）にとってより安全・快適な大会となるように努めるとともに、「見る人」「支える人」を拡げる取り組みを行う。 【指標追加の理由】 より多面的に北九州マラソンの実施価値を測るため、新たに、ボランティアの面からの指標を設ける。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 目標 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業 主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-2-(3)- ② スポーツ を通じた にぎわい づくり	54	③	④ ⑪	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。	国際・全国大会等の開催数	29回 (2014年度)	27回	28回	29回	30回 (2020年度)	継続	3,650	3,000	減額	2,615	課長 0.01人 係長 0.10人 職員 0.20人	順調	市民の「みる」スポーツの機会創出のため、魅力ある大会の誘致を図るとともに、スポーツ大会開催補助の効率的な執行に努める。 また、歴史ある門司港レトロマラソンを継続的に実施していく。	順調	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指すとともに、ミクニワールドスタジアム北九州の活用や広報活動の強化に取り組む。平均入場者数やスポーツ観戦率の増加に取り組む。 また、プロスポーツの観戦招待や国際大会・全国大会等の開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等により市民全体の機運を高め、スポーツの振興はもとより、まちのにぎわいづくりを図る。
	55	③	④ ⑪	ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	87% (2014年度)	90%	90%	90%	90% (毎年度)	継続	50,000	40,000	減額	3,075	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.20人	順調	予算は減額するが、「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。		
	56	③	④ ⑪	ホームタウン推進事業	スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「塚プレイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	23% (2014年度)	40%	40%	40%	40% (2020年度)	継続	63,450	63,450	維持	6,575	課長 0.05人 係長 0.15人 職員 0.60人	順調	市民観戦事業や、体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。		
	57	③	④	大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	国際スポーツ大会推進室	生涯スポーツの振興やまちの賑わい創りに繋がる大規模国際スポーツ大会の試合会場、及びラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へと繋げることを目的として、誘致プロモーションの展開や官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行う。	ラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地誘致数	—	1	—	—	1ヶ国又は1競技以上 (2019年度)	継続	62,000	171,700	増額	64,000	課長 1.00人 係長 3.00人 職員 3.00人	順調	ラグビーワールドカップ2019については、ウェールズ代表キャンプ実施に向けた準備を進め、キャンプの成功とレガシー構築を図る。 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会についても、対象国に対する誘致活動を引き続き行う。 また、本市でのキャンプが決定したタイ（卓球・テコンドー）、コロンビア（水泳など10種目）等について、キャンプの準備や実施を進めていく。 国際スポーツ大会等の誘致活動についても、引き続き推進していく。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 ゴール 番号	SDGs サブ ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
58	③	③	⑦ ⑧ ⑩ ⑪	北九州スタジアム 維持管理事業	スポーツ 振興課	北九州スタジアムは、 都心部に人が集い、にぎ わいあふれる北九州市の 創出を目指し、Jリーグ やラグビートップリーグ などの試合、小中高生の サッカー・ラグビー大 会、グラウンド・ゴルフ 大会、子どもたちへの芝 生開放などに加え、まち ににぎわいを生み出すイ ベントの開催など、市民 に夢と感動を提供できる 施設である。 施設の適切な維持管 理・運営を実施すること で、「みる」スポーツの 機会提供の充実を図り、 スポーツを通じたまちの にぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの 機会提供の充実 (グラウンドの年間 利用日数)	目標	100 日	100 日	100 日	100日 (毎 年度)	継続	102,355	103,303	維持	2,750	課長	0.05 人	順調	施設の適切な維持管理・運営 やイベント誘致に取り組み、 「みる」スポーツの機会の充実 を図り、スポーツを通じたまち のにぎわいを生み出す。		
								実績	115 日									係長	0.09 人				
								達成率	115.0 %									職員	0.17 人				
59	⑩	⑪	⑪	地域総括補助金	地域 振興課	各地域団体が連携・協 力し、まちづくり協議会 を中心に地域が一体と なった地域づくりを促進 するため、これまで市各 部局が事業ごとに地域団 体に交付していた補助金 を可能な限り一本化し、 まちづくり協議会に交付 する。	地域総括補助金を導 入したまちづくり協 議会数	目標	134 団体	134 団体	134 団体	137団体 (2023年 度)	継続	332,496	317,408	維持	3,825	課長	0.05 人	順調	住民主体の地域づくり・まち づくりを促進するため、まちづ くり協議会や各種地域団体に対 する地域総括補助金の交付を行 う。		
								実績	133 団体									係長	0.10 人				
								達成率	99.3 %									職員	0.30 人				
Ⅲ-3-(1)- ① 市民主体 の地域づ くりの促 進	60	⑪	⑪	住民主体の地域づ くりの促進	地域 振興課	まちづくり協議会を中 心としたネットワークを 構築し、まちづくり協議 会が相互に情報を共有し 交流できる場を設けるな ど、住民主体の地域づく りを進める。	地域カルテフォロー アップ事業を実施し たまちづくり協議会 の数	目標	10 団体	5 団体	1 団体	住民主体 の新たな 地域づく りが活発 に行われ ている状 態	継続	3,012	4,897	増額	3,575	課長	0.05 人	やや 遅れ	地域カルテ事業については、 他局が所管する「福祉」や「防 災」の観点での地域づくり事業 と類似しており、地域の負担も 考慮し2018年度で終了。 2019年度は、地域カルテフォ ローアップ事業を実施するほ か、まちづくり協議会等の地域 団体に地域の課題解決に主体的 に取り組んで頂くため、まちづ くり専門家派遣制度の活用な ど、地域の実情やニーズに応じ た支援を行う。また次世代の地 域活動の担い手を発掘するイ ベント(シンポジウム等)を実施 する。 【指標追加の理由】 地域カルテ事業が2018年度で 終了するため、新たな指標を追 加した。		
								実績	4 団体									係長	0.15 人				
								達成率	40.0 %									職員	0.20 人				
							目標			46 %	46% (毎 年度)	継続	3,012	4,897	増額	3,575							
					実績																		
					達成率																		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-3-(1)- ② 地域コ ミュニ ティ施設 の活用・ 運営	61	⑪	⑪ ⑰	市民センターの充 実	地域 振興 課	市民センターの管理運 営を円滑・適正に行うた め、公募により多様な人 材を市民センター館長と して採用し、地域の活動 を担うまちづくり協議会 への管理委託などを行 う。 また、市民センターを 拠点とした地域づくりを 推進するため、未整備校 区に市民（サブ）セン ターを整備し、老朽化対 策やバリアフリー化を図 り計画的な改修を行う。	市民センター1館当 たりの利用者数	目標	42 千人	42 千人	42 千人	42千人 (毎年度)	継続	2,270,486	2,253,009	維持	46,250	課長	1.00 人	順調	市民センターを拠点とした地 域づくりを促進するため、老朽 化対策やバリアフリー化等ハー ド面を整備するとともに、円滑 な施設運営ができるよう、館長 及び市民センター職員の人材育 成や職場環境の改善に努めると ともにセンター事業の充実に取り 組みながら利用者の増加を図 る。	順調	引き続き、市民センターを拠 点とした地域づくりを促進する ため、老朽化対策やバリアフ リー化等ハード面を整備すると ともに、館長及び市民センター 職員の能力向上を図る研修や、 タイムリーな情報発信等ソフト 面の充実にも努め、利用者の増加 を図る。
								実績	40 千人										達成率				
Ⅲ-3-(1)- ③ 自治会・ 町内会へ の加入促 進	62	⑪	⑪ ⑰	自治会・町内会活性 化の促進	地域 振興 課	自治会と連携しなが ら、加入率向上や組織・ 活動の見直し及び人材育 成など新たな課題への対 応につながる様々な事業 に取り組み、自治会・町 内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯 定的な考えの市民の 割合	目標	85 %	85 %	85 %	85% (毎年度)	継続	30,789	27,717	その他	4,095	課長	0.03 人	順調	ポータルサイトを活用した自 治会活動の重要性や活動内容の PR強化及び各自治会における加 入促進・脱会防止の事例等につ いて情報共有を図る。 また、マンション管理士によ る自治会役員研修会の開催な ど、マンション等の共同住宅の 自治会加入について、自治会と 連携して働きかけを強化する。	順調	自治会・町内会を取り巻く課 題を解決し活性化を促進するた めに、マンション等の管理会社 等の関係者に積極的に働きかけ ていくほか、引き続き地域コ ミュニティの重要性や自治会の 必要性について幅広く理解を求 めることに力を入れていく。
								実績	81.0 %										達成率				
							地域づくり活動への 参加者の割合	目標	46 %	46 %	46 %	46% (毎年度)											
							実績	39.6 %									達成率	86.1 %					

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数
Ⅲ-3-(2)- ① NPO、ボラ ンティア 活動の支 援	63	④	④ ①⑦	NPO・市民活動促進 事業	市民 活動 推進 課	市民活動の促進に加 え、NPOと行政の協働を 推進するため、活動や協 働等に関する相談・助 言、情報提供、研修・啓 発等を実施する。	新規設立NPO法人数 (累計) ※中期目標改訂	目標	90 法 人	105 法 人	120 法 人	135法人 (2020年 度)	継続	19,990	20,750	維持	19,725	課長	0.15 人	順調	市民活動の裾野を広げるた め、市民に対し活動のきっかけ づくりとなるセミナー、講演会 を引き続き実施するとともに、 地域に支えられるNPOを育成す るため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実 施や情報提供の充実を図ってい く。 また、NPOへの資金的な支援を 引き続き行っていく。
								実績	88 法 人										係長				
							サポートセンター利 用者数	目標	24,500 人	25,000 人	25,000 人	25,000人 (毎年度)						職員	2.00 人				
Ⅲ-3-(2)- ② NPO、企 業、研究 機関など との連携 の構築	64	④	④	NPO公益活動支援事 業	市民 活動 推進 課	市民活動の更なる促進 を支援するため、NPO等 が専門性を発揮して行う 活動に対し、事業費の一 部を補助する。	補助交付事業件数 (累計) ※中期目標改訂	目標	80 件	86 件	110 件	120件 (2020年 度)	継続	1,989	3,212	増額	3,275	課長	0.10 人	順調	市民ニーズが複雑化、多様化 する中、専門性や先駆性を発揮 して地域課題の解決等に取り組 むNPOに対して引き続き資金的な 支援を行い、市民活動の促進を 図る。	順調	多様な主体による協働を推進 するため、NPO、企業等との交流 会を引き続き実施し、団体間の 協働を支援する。
								実績	86 件										係長				
							成果発表会の参加人 数（累計） ※中期目標改訂	目標	380 人	430 人	480 人	530人 (2020年 度)						職員	0.15 人				
							NPOと企業・地域・ 大学等との協働件数	目標	5 件	5 件	5 件	5件 (2020年 度)						課長	0.03 人				
								実績	5 件									係長	0.10 人				
								達成率	100.0 %									職員	0.15 人				

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主なゴール番号	SDGs ゴール番号	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の方向性	H30年度(2018) 予算額(千円)	R1年度(2019) 予算額(千円)	事業費の増減	人件費(目安)			H29年度(2017) 事業評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	H29年度(2017) 局施策評価	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値(基準値)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)					中期目標	金額(千円)	職位					人数
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	66	④	④⑩	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数(累計) ※中期目標改訂	目標	1,250 人	1,500 人	1,750 人	2,000人(2020年度)	継続	2,227	1,491	減額	6,400	課長	0.10 人	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 【中期目標の変更理由】 中期目標を2018年度に設定していたため、2020年度の目標値を設定した。	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 協働への理解を深めるセミナーや協働事例の発信、各団体間の自主的な協働の側面支援に引き続き取り組んでいく。
								実績	1,555 人										達成率				
67	⑩	⑩	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	目標	5 件	5 件	5 件	5件(2020年度)	継続	2,627	1,323	減額	2,470	課長	0.03 人	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 【中期目標の変更理由】 中期目標を2018年度に設定していたため、2020年度の目標値を設定した。	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	
							実績	5 件										達成率					100.0 %
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる市役所づくり	68	④	④⑩	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数(累計) ※中期目標改訂	目標	90 法人	105 法人	120 法人	135法人(2020年度)	継続	19,990	20,750	維持	19,725	課長	0.15 人	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 【中期目標の変更内容】 中期目標を2018年度に設定していたため、2020年度の目標値を設定した。	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 市民との協働を推進するため、協働意識向上のための研修、セミナー等の充実、NPO・市民活動に関する情報提供に取り組む。
								実績	88 法人										達成率				
69	④	④⑩	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数(累計) ※中期目標改訂	目標	1,250 人	1,500 人	1,750 人	2,000人(2020年度)	継続	2,227	1,491	減額	6,400	課長	0.10 人	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 【中期目標の変更理由】 中期目標を2018年度に設定していたため、2020年度の目標値を設定した。	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	
							実績	1,555 人										達成率					124.4 %
69	④	④⑩	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	収入増加団体数(累計) ※中期目標改訂	目標	10 団体	12 団体	14 団体	16団体(2020年度)	継続	2,227	1,491	減額	6,400	課長	0.10 人	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等) 【中期目標の変更理由】 中期目標を2018年度に設定していたため、2020年度の目標値を設定した。	順調	R1(2019)年度に向けて強化・見直した内容(課題に対する改善方法等)	
							実績	11 団体										達成率					110.0 %

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs 目標 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数		
IV-4-(1)- ② 偉人・先 人の顕彰	70	④	④	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数 (単位：人) ※中期目標改訂	10,741人 (2011年度)	目標 22,000人 実績 22,536人 達成率 102.4%	22,000人	22,000人	7,500人	7,500人 (2019年度)	縮小	19,455	17,132	減額	12,625	課長 0.50人 係長 0.50人 職員 0.25人	順調	展示リニューアル工事により、施設の魅力を向上させることで、入館者数の増加を図り、市民と文学との接点を提供していく。 【中期目標の変更内容】 展示リニューアル工事による休館を予定しており、一時的な入館者数の減少を折り込む。	順調	施設の認知度を高め、これまで以上に市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増加に繋げていく。 松本清張生誕110年の節目の年にあたり、市民をはじめ多くの清張ファンに繋がるよう中庭のリニューアルを図り、魅力ある企画展などを実施する。		
	71	④	④	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (2010年度)	目標 前年度 (48,404人)比増 実績 47,205人 達成率 97.5%	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増 (毎年度)	縮小	27,841	14,855	減額	23,250	課長 0.50人 係長 1.00人 職員 1.00人	順調	松本清張生誕110年の節目の年にあたり、入館者の増加を図るため、2018年度に行った魅力向上調査に基づき、記念館の中庭のリニューアル等を行うことで、市民をはじめ、より多くの方に清張の人と作品に触れる機会をつくる。 記念館全体の事業を精査した上で、企画展の回数を1回削減するが、記念館の魅力向上を図ることにより、「文学の街・北九州」を市内外に発信する。 またあわせて、魅力ある企画展・記念講演会など実施する。	順調			
IV-4-(2)- ③ 都市イ メージの 向上	72	⑧	⑧ ⑪	映像製作誘致強化 関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 (直接経済効果) ※中期目標改訂	100,000 千円 (2009年度)	目標 110,000 千円 実績 519,944 千円 達成率 472.7%	500,000 千円	150,000 千円	150,000 千円 (2019年度以降毎年度)	継続	49,388	46,573	減額	47,100	課長 0.40人 係長 2.00人 職員 3.00人	大変 順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、これまでタイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、今後はシンガポールや北九州空港への直行便が就航した台湾にターゲットを拡大する。 【中期目標の変更内容】 地域経済への貢献については、事業規模を若干縮小しつつ効率化を図るため、単純な前年比較ではなく直近20年間の平均値に対して持続的な成長をするよう目標設定を見直した。 北九州フィルム・コミッションの市民への認知度については、当初の目標を達成したため、更なる認知度向上に向け目標値を見直し、上方修正した。	大変 順調	映像製作誘致強化関連事業については、引き続きアジアを中心とする海外作品の誘致等に積極的に取り組み、「映画の街・北九州」という都市ブランドを国内外に広く発信していく。			
						北九州フィルム・コミッションの市民への認知度 ※中期目標改訂	59.8% (2013年度)	目標 75.0% 実績 88.1% 達成率 117.5%	80.0%	85.0%	85.0% (2019年度)														